



歯周病唾液検査の 検査報告書を 持ってこられたら

結果通知表の読み方

検査結果報告書

報告日									
事業所名									
所属氏名	性別								
検査項目名	検査成績	検査日	基準値						
ヘモグロビン	μg/ml		2μg/ml未満						
LDH	U/L		350U/L未満						
※は要精密検査									
ヘモグロビン (Hb)	歯肉から出血がおこると唾液中の赤血球が「溢し」ます。さらに、赤血球が溶血し、ヘモグロビンが唾液中にでてきます。								
乳酸脱水素酵素 (LDH)	人体の臓器の細胞内に分布している酵素で、人体の臓器に異常があると細胞外に出てきます。歯周組織が破壊されると唾液中に乳酸脱水素酵素が出てきます。								
※検査結果の見方 Hb値2μg/ml以上またはLDH値350U/L以上で陽性です。 【注意事項】 ●この検査は検査を行った時点での歯周病の活動性をはかるスクリーニング検査です。 ●検査結果が「要精密検査」の場合は、歯科医院を受診し、歯周病検査、レントゲン検査など精密検査を受けましょう。 ●検査結果が基準値以下の場合でも、普段、次の症状がある方は歯科医院を受診しましょう。歯周病の予防管理で定期的に受診されている方は、引き続き受診しましょう。 <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 歯肉から出血する</td> <td><input type="checkbox"/> 歯肉が赤く腫れている</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 歯肉から膿が出る</td> <td><input type="checkbox"/> 歯がぐらぐらする</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 口臭がある</td> <td><input type="checkbox"/> 歯と歯の間に食べ物がはさまる</td> </tr> </table>				<input type="checkbox"/> 歯肉から出血する	<input type="checkbox"/> 歯肉が赤く腫れている	<input type="checkbox"/> 歯肉から膿が出る	<input type="checkbox"/> 歯がぐらぐらする	<input type="checkbox"/> 口臭がある	<input type="checkbox"/> 歯と歯の間に食べ物がはさまる
<input type="checkbox"/> 歯肉から出血する	<input type="checkbox"/> 歯肉が赤く腫れている								
<input type="checkbox"/> 歯肉から膿が出る	<input type="checkbox"/> 歯がぐらぐらする								
<input type="checkbox"/> 口臭がある	<input type="checkbox"/> 歯と歯の間に食べ物がはさまる								

Hb(ヘモグロビン)値2(μg/ml)以上または LDH が 350(U/l)以上 → **要精密検査**です。
この検査は、検査を行った時点での歯周病の活動性をはかるスクリーニング検査です。検査結果が要精密検査の場合は、歯科医院を受診し、歯周病検査、レントゲン検査などの精密検査により確定診断を受けてくださいと指導しています。要精密検査でなかった場合でも、出血などの自覚症状がある場合は、同じく歯科医院で精密検査を受けて、健康かどうかの確定診断を受けてくださいと指導しています。

用語説明

Hb

ヘモグロビンとは

歯周組織破壊による出血検査です。歯周病により歯肉組織からの出血が起こると唾液中に赤血球が遊離します。赤血球は溶血してヘモグロビンが細胞外に出るのでその量を測定します。歯肉出血以外の出血と区別がつかみませんので、外傷、咬傷、擦過傷、歯髄炎、鼻血などには注意を要します。

LDH

エルディーエイチ・
乳酸脱水素酵素とは

歯周組織破壊による炎症検査です。歯周病の進行により細胞が破壊されることで唾液中に排出されます。一般には血液検査での肝機能検査項目ですが、唾液中と血中のLDHは関連しません。

**ここで
注意!**

総合判定の結果に関わらず、歯周病唾液検査結果通知表を持ってこられた患者さんには、必ず歯周病の検査（歯周組織検査、レントゲン撮影、口腔内写真、口腔内診査など）を行いましょう。そして、歯周病の確定診断を行ってください。唾液検査で基準値を下回っていても、それだけで口腔内が良好な状態かどうかは判断できません。



歯周病の確定診断を受けるために来院されますので、その他の治療が必要な場合は、確定診断後に御説明ください。

歯周病唾液検査 Q&A



Q1 歯周病の治療を受け、現在定期検診に通っています。「上手に磨けてますね」「数値も安定しています」と毎回言われていましたが、今回検査を受けたところ要精密検査と出ました。私は治っていたのではないのでしょうか。

A1 歯周病唾液検査は、視診やポケット測定などの歯周病検査より、より高い感度で炎症を検出する生化学検査です。歯周病は慢性疾患なので「安定期」=「治癒」ではありません。要精密検査になることは考えられます。

Q2 歯周病の診断を受けて治療に通っていますが、唾液検査では要精密検査とは出ませんでした。

A2 唾液中にとけ込んだ生化学マーカーを検出する検査ですので、唾液中に生化学マーカーがとけ込んでいなかった場合（検査直前の飲食、喫煙、うがい等）や、唾液が少なかった場合（ドライマウスなど）にうまく検出できない場合があります。歯周病検査で確定診断をすでに受けている訳ですから、そのまま治療を継続しましょう。

Q3 私は糖尿病です。要精密検査と出ましたが、全身疾患があると歯周病がなくても要精密検査と出たりしませんか？私に歯周病の自覚症状はないのです。

A3 唾液中の生化学的マーカーは、血液中のそれとは全く関係がないことが分かっています。つまり、口の中から出たマーカーが唾液に混ざり、それを検出しているのです。従って全身疾患からの影響はありません。ただし、ドライマウスなど、唾液量の少なくなる全身疾患の場合は影響があります。

Q4 検査結果が要精密検査ではありませんでした。私は健康なのですね。

A4 生化学マーカーが唾液中から検出されなかったことと、歯周病ではないということは直ちに結びつけることはできません。検出されないことがあるからです（前述）。歯周病でないかどうかは、歯科医院での確定診断が不可欠です。また、要精密検査でなかったとしても、今後今の状態を維持するためには歯科医院での指導を定期的に行うことが不可欠です。

正しい唾液の採取方法



注意事項

唾液採取前2時間は飲食、および歯磨きは避け、水で口をすすいでから行ってください！



採取セット



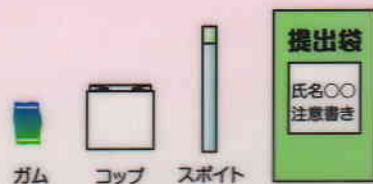
操作手順

- (1) ネームラベルに氏名等を記入し、それぞれの容器に貼る。
- (2) ガムを噛み、溜まった唾液をコップに出す。
(およそ5分間)

※ガムはコップに出さないでください。



- (4) 黄色容器に、残りの唾液を容器の半分程度まで入れて、しっかりキャップをする。
- (5) 提出袋に氏名を記入し、2本の容器を入れて、すぐに提出する。



スポイトの使い方

- 1) スポイトの真ん中を強くつまむ。
- 2) つまむ力を緩めると、唾液がスポイト内に吸い上げられる。
※右図のように先端に少量だけ入ります。
- 3) 再度つまみ、1滴排出する。

黄色容器

